

新年のごあいさつ

田原市議会議長 渡会清継

輝かしい平成30年という節目の新春を迎え、市民の皆様のご健勝をお慶び申し上げ ます。

昨年は、世界陸上ロンドン大会に女子マラソン日本代表として出場した清田真央選 手をはじめ、田原市ゆかりのスポーツ選手が大活躍しました。今年9月には、サーフィ ンのオリンピックとして名高い「2018ワールドサーフィンゲームス(世界大会)」が

田原市で開催されます。スポーツを通して、田原市から世界へ羽ばたき、国内だけでなく、海外でも田原市の 名前が知られるように期待したいと思います。

さて、昨年、田原市議会では、1月に常任委員会の「総務」・「経済建設」・「文教厚生」委員会を「総務産業」・ 「文教厚生」委員会に改め、各委員会の定数を6人から9人にしました。これは、多様化・専門化する行政ニーズ や増加する事務事業の審査に対応し、より多くの質疑・討論ができる委員会構成とするためです。また、7月か らは議会BCP(業務継続計画)の検討を始め、8月には市民の皆さんと議員が車座になって、テーマについて意 見を交換する意見交換会を開催するなど、平成22年に制定した議会基本条例の具現化に引き続き力を入れてき ました。さらに、11月には平成28年に鳥羽市議会と締結した友好交流協定が、

マニフェスト大賞の成果賞にノミネートされました。今年も議会改革の取り組 みを継続し、さらに皆様に開かれた議会を目指します。

本年が皆様にとってより良い年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあ いさつといたします。



マニフェスト大賞 成果賞に 鳥羽市議会・田原市議会がノミネートされました
「議会連携の強化を目指して~西日本初の地方議会単独協定締結~」
■マニフェスト大賞とは
地方自治体の議会・首長や地域主権を支える市民などの優れた活動を広く
募集し、その中から優れた取り組みが表彰されるというもの。審査委員長
北川正恭さん(早稲田大学名誉教授・元三重県知事)と大学教授などの審査員10人で構成される審査委員会で選考されます。
■ 成果賞とは
マニフェスト推進賞など7部門の中の1つ。マニフェストの有無を問わず、活動を通じて政策を実現させ、成果を出しているものが対象です。具体的には、議会改革や住民を巻き込む手法、政策の策定プロセスの取り組みなどです。
■ 鳥羽市議会・田原市議会の取り組み
平成21年から議会同士が相互訪問をスタート。交流を続ける中で、伊勢湾フェリー航路存続問題の際も、両市議会が協力し、両市議会で意見書を可決して、国土交通大臣政務官へ提出しました。これからも交流を継続するため、協定を締結しました。成果賞にノミネートされた後、マニフェスト大賞の候補となる優秀賞には選ばれませんでしたが、今後も相互訪問や合同研修などで関係を強化していきます。